

平成 20 年度経済産業省産業技術環境局長表彰および IEC1906 賞の受賞

電気規格調査会
標準化推進室

去る平成 20 年 10 月 20 日、虎ノ門パストラルホテル新館 1F「鳳凰の間」にて、平成 20 年度経済産業省産業技術環境局長表彰および IEC（国際電気標準会議）1906 賞の表彰式が盛大に挙行されました。日頃から国際標準化活動に顕著に貢献された方々を対象にした表彰です。

経済産業省産業技術環境局長表彰は、平成 19 年度に新設された表彰で、本年度で 2 回目の表彰となりました。この栄えある賞に電気学会電気規格調査会から 2 名の方が受賞されました。IEC/TC22（パワーエレクトロニクス）国内委員会幹事を務めている（株）日立製作所 古関庄一郎氏、IEC/TC14（電力用変圧器）国内委員会委員長を務めている（株）日本 AE パワーシステムズ 白坂行康氏が受賞されました。

古関氏は、IEC/TC22（パワーエレクトロニクス）国内委員会幹事を約 11 年間務め、国際提案に向けた国内意見の取りまとめを行うなど国際標準化活動に積極的に参画するとともに、IEC/TC22/WG1 のエキスパートとしてパワーエレクトロニクス関係の国際規格に我が国の技術的意見を反映するなど国際標準化に貢献されました。

白坂氏は、IEC/TC14（電力用変圧器）、IEC/SC22F（送配電システム用パワーエレクトロニクス）のエキスパートとして活躍し、ガス入変圧器の国際提案など国際規格化を積極的に推進するとともに、国内活動においても IEC/

TC14 国内委員会で 14 年間活動し、うち幹事として 3 年、国内委員長として約 2 年間務めるなど国際標準化に貢献されました。

IEC（国際電気標準会議）1906 賞には、電気学会電気規格調査会から 3 名の方が受賞されました。IEC/TC37（避雷器）国内委員会委員を務めているサージプロテクト KK 小林三佐夫氏、IEC/TC28（絶縁協調）国内委員会委員を務めている東京電力（株）財満英一氏、IEC/TC68（磁性合金および磁性鋼）国内委員会委員長を務めている新日本製鐵（株）藪本政男氏が受賞されました。この賞は、IEC/SC 役員のアドバイスを考慮して IEC/TC 役員が選考したもので、多年 IEC TC/SC の活動に貢献したことに對して表彰するものです。

小林氏は、電力システムのサージ保護に関して、世界的に最も多くの経験を有する技術者の一人として、酸化亜鉛形避雷器とその適用に関する多くの WG とメンテナンスチーム（MT）会議に 25 年以上参加し、避雷器の規格化作業に貢献したことに対して功績が認められたものです。

財満氏は、IEC/TC28（絶縁協調）において、20 年に亘り精力的に活動し、日本の絶縁協調技術、特に近年の超高電圧交流システムの開発に関して、WG や MT に貢献したことに対して功績が認められたものです。

藪本氏は、磁性鋼の測定法の IEC 規格にデジタル方式を導入するプロジェクトのリーダーを献身的に務めたこと、および産業界にとって重要な磁歪特性の測定法に関する包括的な文書を作成したことに対して功績が認められたものです。

写真 1, 2 に、受賞された方々の集合写真を示します。



写真 1 平成 20 年度経済産業省産業技術環境局長表彰受賞者
（古関庄一郎氏：前より 2 列目右から 6 人目、白坂行康氏：前より 2 列目右から 4 人目）



写真 2 2008 年 IEC1906 賞受賞者
（小林三佐夫氏：前列右から 2 人目、財満英一氏：中列右から 4 人目、藪本政男氏：後列右から 4 人目）